

# THE JAPAN ACADEMY

## 51st Public Lecture

開催日・平成21年10月24日(土)  
 時間・14:00～17:10  
 (質疑を含め各講演約80分)  
 場所・日本学士院会館  
 (東京・上野)

上野の山文化ゾーン

講演会シリーズ

フェスティバル

### 講演1

金融危機後の  
米中経済調整  
新開陽一



### 講演2

生物の進化と  
老化の観点から  
見た骨  
須田立雄



日本学士院会員  
大阪大学名誉教授

日本学士院会員  
昭和大学名誉教授  
埼玉医科大学  
ゲノム医学研究センター  
客員教授

◎お問い合わせ先  
 日本学士院 公開講演会係  
 〒110-0007 東京都台東区上野公園 7-32  
 TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105  
 E-mail: kouenkai@japan-acad.go.jp



聴講無料(定員150名・先着順)  
 事前申込制→詳しくは裏面を



# 日本学士院第51回公開講演会

日本学士院では、広く一般の方々を対象に、本院の活動を理解してもらうことを目的として、会員を講師に毎年春・秋2回講演会を実施しています。春季は全国各地、秋季は上野の本院会館で開催し、専門分野の異なる講師により研究成果を社会に分かりやすく発信しています。日本学士院には各分野で高い業績を挙げた研修者が多数所属しています。本講演会は日本学士院会員の話聞ける数少ない機会です。是非、奮ってご参加ください。

## 講演1 「金融危機後の米中経済調整」

米国発の世界金融危機の実相は少しずつ明らかになってきた。しかし危機が一応収束したのちのマクロ経済の姿、とくに米中の経済調整の姿は不明のままである。この講演では、サブプライム危機の背後にあるマクロ不均衡をややくわしく解明し、そこから導きだされる米中調整の方向について若干の見通しを示してみる。米中とも、消費・投資などの支出に関しては、かなりの意見の集約がすすんでいるかのごとくであるが、生産あるいは生産構造の調整については、あまり分析がすすんでいないと思われる。私はとくに中国の生産面の調整に新しい視点をあて、今後のマクロ情勢は楽観を許さないと指摘したい。



日本学士院会員  
大阪大学名誉教授

**新開陽一** (しんかい よういち)

司会 会員 水田 洋

## 講演2 「生物の進化と老化の観点から見た骨」

地球の歴史を1年に縮めてみると、人類は大晦日の午後11時59分に登場したに過ぎないという。45億年前に地球が誕生してから、永い、永い時間が経過した。現在、地球上には3,000万種を超える多様な動植物が生存している。

その中で最も進化した生物は脊椎動物であり、その頂点に位置するのがホモサピエンス(現生人類)である。言うまでもなく、脊椎動物の最大の特徴は「脊椎(骨組織)」を持つことである。最近の総務省の発表によると、わが国の65歳以上の高齢者人口は全人口の21.5%を超え、その実数は2,700万人に達したという。このような高齢社会を反映して、生活習慣病のひとつである「骨粗鬆症」などの骨代謝疾患を患う高齢者が急増し、その実数は1,000万人を超えたと推定されている。この公開講演会では、生物の進化と老化の観点から見た骨の諸問題について、ご参集の皆様方と一緒に考えてみたいと思う。



日本学士院会員  
昭和大学名誉教授  
埼玉医科大学ゲノム医学研究センター客員教授

**須田立雄** (すだ たつお)

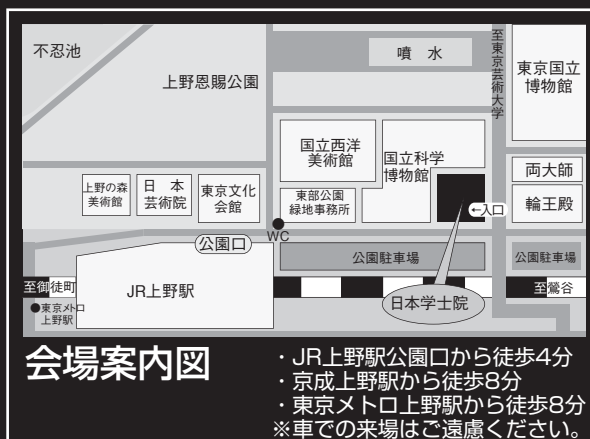
司会 会員 岸本忠三

### お申し込み・お問い合わせ先

日本学士院 公開講演会係 〒110-0007 東京都台東区上野公園7-32  
TEL: 03-3822-2101 FAX: 03-3822-2105 e-mail: kouenkai@japan-acad.go.jp

### お申し込み方法(定員150名・先着順)※事前にお申し込みが必要です。

e-mail、ファックスまたは往復はぎのいずれかの方法で住所、氏名、フリガナ、電話番号、メールアドレス等の連絡先を記載して、上記の連絡先にお送りください。お席に限りがございますのでお申し込みはお早めをお願いいたします。本院ウェブサイト(<http://www.japan-acad.go.jp/>)からもお申し込みできます。



### 会場案内図

- ・JR上野駅公園口から徒歩4分
  - ・京成上野駅から徒歩8分
  - ・東京メトロ上野駅から徒歩8分
- ※車での来場はご遠慮ください。